

【意見の概要とそれに対する市の考え方】

No	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	<p>現状埋もれている史跡を目にすることは出来ません。今後も状況・状態によっては保存の観点から考えると難しいかと思えます。それならば、例えばスマホでQRコードを読み込むことによりCGで遺跡が見られる。オーディオガイドで説明を聞く音ができる。そのようになると来訪者の理解も深まると思われます。とくにオーディオガイドはぜひとも検討してもらいたい。また、出土品の展示も必要です。</p>	<p>本計画では遺構の平面表示（第5章第5節）と解説サインの設置（同第7節）により、埋もれた遺構を現地で体感できるよう整備を行うこととしています。QRコードについては、解説サイン等で、盤面等の制約上、さらに画像や追加の説明が必要な場合活用することとしていますが（同第7節－1項）、ご指摘のとおり、CGを利用したAR技術の導入やオーディオガイドの活用は来訪者の理解の促進につながるものと考えますので今後実現に向けて検討してまいります。</p>
2	<p>史跡を楽しむためには気軽に見て回れることも重要。そのためには遊歩道、歩道の整備は不可欠。気になったのは「第36図 動線計画図」の中の「導入地区動線」の箇所。きちんとした歩道にしてもらいたい。現況見た目も良いとは思えませんので。</p>	<p>ご指摘のとおり、導入地区の動線の一部に泥濘が認められます。今後関係部署と協議・調整を図りながら、来訪者の利便性を高めてまいります。</p>
3	<p>史跡周辺には貴重な樹木、草本も見られる。ひとつひとつは行かないまでも、案内のような表示物があってもいいのではないのでしょうか。</p>	<p>ご指摘の点につきましては、自然環境を活かした整備を行う上で非常に重要であることから、史跡内の樹木や植物を取り上げたサインを設置する方向で検討を進めてまいります。</p>